



平成 23 年 3 月 16 日

各 位

会 社 名 株式会社三井ハイテック
代表者名 代表取締役社長 三井 康誠
(コード番号 6966 東証第 1 部・福証)
問合せ先 取締役管理本部長 辻本 圭一
(T E L 093-614-1111)

通期連結業績予想値と実績との差異及び特別損失の計上に関するお知らせ

特別損失を計上したことにより、平成23年1月期通期連結業績予想値と実績との間に差異が生じたので、お知らせいたします。

記

1. 通期連結業績予想値と実績との差異について

(1) 平成 23 年 1 月期通期連結業績予想値と実績との差異 (平成 22 年 2 月 1 日～平成 23 年 1 月 31 日)

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益	1 株当たり 当期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前 回 発 表 予 想 (A)	49,500	△650	△900	△1,800	△42.39
今 回 発 表 実 績 (B)	50,069	△681	△942	△2,757	△64.93
増 減 額 (B - A)	569	△31	△42	△957	△22.54
増 減 率 (%)	1.1	—	—	—	—
(ご参考) 前期実績 (平成 22 年 1 月期)	37,924	△4,285	△4,032	△4,966	△116.95

(2). 差異の理由

売上高は、半導体市場などにおいて前回予想したほどの需要減速に至らなかったものの、主要原材料である非鉄金属や貴金属の建値上昇などの影響により利益面では前回予想を下回ることとなりました。加えて期末において特別損失を計上したことにより、平成 22 年 12 月 15 日に発表いたしました平成 23 年 1 月期通期連結業績予想値と実績との間に差異が生じております。

なお、本件による配当予想の修正はありません。

2. 特別損失の計上について

I C 組立事業において、価格競争激化や業界再編などの事業環境が変化したことにより、想定していた収益回復に遅れが見られるため、「固定資産の減損に係る会計基準」に則り、将来キャッシュ・フローの見積りに基づく回収可能性を検討した結果、当社の I C 事業所及び熊本事業所が保有する固定資産等について減損処理を実施いたしました。これにより期末において 9 億 3 百万円の特別損失を計上し、連結当期純利益が同額減少しております。

また、連結子会社であるミツイ・ハイテック (タイワン) カンパニー・リミテッドは、立ち上げに伴う損失により純資産が減少したため、当社が保有する当該子会社の株式について期末に 9 億 5 千 5 百万円の特別損失を計上しております。なお、これによる連結業績への影響はありません。

以 上